

平成 28 年度 事業計画

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

1. 基本方針

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会は、平成 28 年度も大阪フィルハーモニー交響楽団の運営を中心として、交響管弦楽その他音楽の普及振興を図るとともに、青少年層の音楽鑑賞・演奏に関する指導を行い、大阪を代表するオーケストラとして、わが国の文化芸術の振興、大阪を中心とした地域活性化に貢献することを事業の基本方針といたします。

また、当協会が保有する大阪フィルハーモニー会館を、市民の音楽活動の拠点として貸与する事業を通じて、地域の音楽文化の普及・振興に貢献するとともに、会館施設の一部を一般に賃貸する収益事業を通じて、交響楽団の運営等の公益事業の費用に充当いたします。

これらの事業の実施におきましては、収益的自立に向けた公演数・公演入場者数・会費収入の維持・拡大に向けた取組みを最優先の課題として取り組むことといたします。

この取組みの要として、平成 28 年度も引き続き内外の著名指揮者を招きますとともに、フェスティバルホール(客席数 2,700 席)において定期演奏会を従来と同様、1 回 2 公演で開催とすることといたします。

また、日常の業務運営におきましては、引き続き公益社団法人として求められる内部統治(ガバナンス)の充実強化、法令遵守の徹底、情報の保存・管理と適正な公開、リスク管理の強化等に努めてまいります。

2. 事業基盤の維持・拡大に向けた平成 28 年度の展開

今後とも次の3本の重点課題を柱に、事業基盤の維持・拡大を進めてまいります。

(1)自立に向けた収益基盤の充実

平成 28 年度は文化庁巡回公演事業や企業からの依頼公演の獲得により受託公演数の増加が見込まれることも考慮し、小編成の室内楽公演や大阪クラシック公演を除き、年間102公演の計画といたします。

1. 自 主 公 演 (33公演)		
公 演 名	会 場	公演数
定期演奏会	フェスティバルホール	20
マチネ・シンフォニー Vol.15・16	ザ・シンフォニーホール	2
ソワレ・シンフォニー Vol.7・8	ザ・シンフォニーホール	2
親子のためのオーケストラ体験教室	大阪フィルハーモニー会館	4
3 大交響曲の夕べ	フェスティバルホール	1
京都特別演奏会	京都コンサートホール	1
第9 シンフォニーの夕べ	フェスティバルホール	2
新春名曲コンサート	フェスティバルホール	1
2. 依 頼 公 演 (69公演)		
企業・団体・学校・ホール等からの依頼公演		67 公演
大阪クラシック(有料・オーケストラ公演)		2 公演

フェスティバルホールでの定期演奏会やその他の自主公演を中心に増収を図ることとし、多くのお客さまに喜んでいただける魅力的なプログラムを準備するとともに、法人会員様を通じた幅広い観客動員の仕組み等を検討・実施することで、入場者数の増加を目指します。

特に7月に開催される第500回定期演奏会では、伝統と革新をテーマに古典の名曲ベートーベンの交響曲第3番「英雄」と、新規性の際立つラテンのリズムのミサ曲「ミサ・タンゴ」をお届けし、数多くのお客さまにご満足いただきたいと思いますと考えております。

昨年度に引き続き音楽ホール様との共同企画を展開することとし、兵庫県立芸術文化センター様との共同企画「大ブルックナー展」、ならびにザ・シンフォニーホール様との共同企画「ソワレ・シンフォニー」をそれぞれ2回開催することとしております。

ホール関係では、定期演奏会他主要な依頼公演等も含め年間30公演以上を行うフェスティバルホール様からの協力を得て、同会場で行う公演に関する広報宣伝、会場でのプロモーションならびにチケット販売促進等を強化し、観客動員の増加に努めます。

会費収入・寄付金収入の増収に向けて、平成27年度より新たに設置したパトロネージュ推進室におけるアドバイザーならびにアンバサダーの活動を効果的に展開するとともに、法人会員様については会員会社からの協力も得て組織的な対応を充実させることで、さらなる新規会員獲得に取り組みます。

以上のような活動を通じ、楽団創設から70周年を迎えることとなる平成29年度に向け、さらなる活動の充実、収益の安定を図りたいと考えております。

(2)オーケストラの体制整備

平成 28 年度より、楽団の演奏活動をサポートする指揮者陣の充実を目的に、年間を通じ複数回の公演を担当する「指揮者」1 名を新たに置くことといたします。

楽団員の体制については、平成 28 年 2 月末現在 69 名のところ、中期的目標である 80 名体制の整備に向けて、引き続きオーディションによりトップレベルの優秀な人材の確保に努めてまいります。

コンサートマスターにつきましては、首席コンサートマスターとして田野倉雅秋を、また首席客演コンサートマスターとして崔文洙との契約を継続するとともに、アシスタントコンサートマスターを選定し、体制の強化を図ることを検討いたします。

(3)大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献活動の推進

過去 10 回の開催により、大阪の秋の風物詩として 5 万人規模の音楽の祭典として定着してきた「大阪クラシック」を、今年も 9 月に在阪オーケストラ・吹奏楽団と共同で開催すべく、現在大阪クラシック実行委員会において協議・調整中です。

「大阪クラシック」の継続開催により、大阪の新しい都市魅力戦略の重点エリアでもある「御堂筋」「中之島」の活性化や、大阪の都市格向上への貢献を目指します。

平成 26 年度以降、定期演奏会の開催にあたって、フェスティバルホールの 3 階席を学生席として 25 歳以下の学生の方々向けに 1,000 円という極めて安価にて販売しております。これは次世代層に対するクラシック音楽普及の観点から実施しているものですが、平成 28 年度については地元高校、大学や学生協様等の各種団体等を通じてさらに幅広く PR を行い、数多くの学生の皆様にご来場いただくよう努めます。

平成 24 年度から実施しております、オーケストラの「リハーサル公開」を今年も継続して実施することで、市民の皆様との接点強化、西成区の文化芸術団体としての地域活性化への貢献を目指します。

平成 27 年度には、大阪フィルハーモニー会館として初の自主事業となる吹奏楽「ドリームコンサート」を隣接する大阪市西成区区民センター様とともに主催し、多数の地元の皆様にご来場いただくことができました。こうして培った音楽事業でのノウハウを活用し、地域における音楽の普及振興に向けた事業を今後ともサポートしてまいります。

「チャレンジ精神溢れる人材が集う都市」といった大阪府市の都市魅力戦略への貢献を目指して、平成 25 年 8 月に音楽系大学生を受け入れてインターンシップ制度を試行しましたが、その後一旦中断しておりました。平成 28 年度については、新たに大阪府下の音楽系大学の生徒を対象として、新たなインターンシップ制度の実施を検討し、次世代のトップレベルの音楽の担い手の育成の一助とすることで社会貢献への姿勢をさらに示したいと考えております。

3. 大阪フィルハーモニー会館の運営

当協会が保有する大阪フィルハーモニー会館のメインホール(600 m²)・市民スタジオ(90 m²1室、40 m²2室)を、市民の音楽活動や文化活動の拠点として貸与する事業を通じ、地域の音楽普及・文化振興に貢献してまいります。

市民スタジオの貸室料金については、周辺の貸室環境等を精査し、できるだけ地域の皆様に喜んでご利用いただけるよう平成 28 年 5 月から改定することといたします。スタジオの稼働率のアップを通じて、地域への貢献に寄与したいと考えております。なお、竣工 20 年が経過した大阪フィルハーモニー会館建物について、公益法人の今後の活動基盤の健全化のため、必要に応じて修繕等の検討を続けてまいります。

4. 平成 28 年度に取り組むべきその他の重要課題

平成 27 年度より、地元自治体による従来の枠組みの助成金は全て削減となり、大阪フィルといたしましては公演入場者数の増加を図るとともに、幅広く企業・個人の皆さまから支援を得ることに取り組んでおります。

そうしたなか、外部との連携による事業への取組の重要性が高まっており、次のような項目を重要課題として掲げ取り組んでまいります。

(1)来場者ニーズの的確な把握と事業内容への反映

今後の大阪フィルハーモニー交響楽団の公演をより魅力的なものとし、ブランドイメージを確立するために、マーケティングリサーチを実施し効果的な戦略プランの構築に取り組んでまいります。

このため、平成 27 年度より開始した「プロボノ賛助会員」制度を活用し、第 1 号の会員となっていたいただいた株式会社電通様の協力を得て、各種検討を行うことといたします。

(2)外部企業・団体との連携による公演来場者の増員

平成 27 年度より、公演会場周辺のホテルと提携し、相互に利用者の増加を図るべく取り組んでいるところですが、平成 28 年度は提携対象の拡大を図るとともに、内容のより一層の充実を検討してまいります。

(3)オリンピック文化プログラムへの参加

現在、2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向け、スポーツ関係の事業のみならず、文化関係の事業の実施についても様々な検討が関係各所において進みつつあります。

大阪フィルとしては、日本オーケストラ連盟や他の地方オーケストラと連携して、各種文化プログラムへ貢献してまいります。

以上

平成28年度収支予算書（正味財産増減計算書総括表）
（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：円）

	平成28年度予算	平成27年度予算	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	230,243,832	188,470,000	41,773,832
正会員受取会費	201,443,832	159,670,000	41,773,832
賛助会員受取会費	28,800,000	28,800,000	0
事業収益	523,842,000	488,897,000	34,945,000
公債収益	307,224,000	245,514,000	61,710,000
広告料収益	20,628,000	7,238,000	13,390,000
入場料収益	170,020,000	213,726,000	▲43,706,000
使用料収益	16,400,000	10,682,000	5,718,000
その他事業収益	9,570,000	11,737,000	▲2,167,000
受取補助金等	53,000,000	64,500,000	▲11,500,000
公的補助金収入	53,000,000	64,500,000	▲11,500,000
寄附金収入	39,000,000	21,634,000	17,366,000
一般寄附金収入	39,000,000	21,634,000	17,366,000
雑収益	1,000,000	5,119,000	▲4,119,000
雑収益	1,000,000	5,119,000	▲4,119,000
経常収益計	847,085,832	768,620,000	78,465,832
(2) 経常費用			
事業費	881,796,191	884,138,180	△2,341,989
役員報酬	3,600,100	3,181,000	419,100
給料手当	357,550,713	393,329,000	△35,778,287
賞与	0	0	0
法定福利費	53,166,972	62,556,000	△9,389,028
旅費交通費	59,076,549	15,504,845	43,571,704
出演費	168,490,000	200,168,000	△31,678,000
音楽費	7,704,000	3,501,000	4,203,000
文芸費	2,661,000	1,593,000	1,068,000
諸謝金	830,000	1,746,000	△916,000
会場費	63,816,000	55,506,000	8,310,000
楽器運搬費	6,579,000	5,921,000	658,000
外注費	4,800,000	1,800,000	3,000,000
宣伝費	5,000,000	1,717,500	3,282,500
印刷製本費	15,180,000	13,461,000	1,719,000
支払手数料	9,940,000	8,643,000	1,297,000
消耗品費	2,421,250	3,467,442	△1,046,192
修繕費	1,767,800	1,362,283	405,517
貸借料	2,278,237	1,973,035	305,202
保険料	1,017,256	1,888,735	△871,479
交際費	1,080,000	0	1,080,000
通信運搬費	4,235,000	4,501,922	△266,922
光熱水費	7,700,000	9,419,283	△1,719,283
委託費	8,735,759	10,250,914	△1,515,155
減価償却費	26,926,568	26,829,412	97,156
雑費	13,188,000	10,129,300	3,058,700
租税公課	31,110,590	24,126,116	6,984,474
修繕引当金繰入額	0	0	0
退職給付費用	22,941,397	21,562,393	1,379,004
管理費	7,896,289	6,722,844	1,173,445
役員報酬	1,542,900	1,364,000	178,900
給料手当	961,287	1,003,000	△41,713
賞与	0	0	0
法定福利費	91,028	107,000	△15,972
旅費交通費	416,451	106,155	310,296
通信運搬費	165,000	155,078	9,922
印刷製本費	0	0	0
支払手数料	0	0	0
消耗品費	78,750	108,558	△29,808
修繕費	32,200	49,717	△17,517
貸借料	88,763	67,965	20,798
保険料	41,744	85,265	△43,521
交際費	120,000	0	120,000
支払利息	750,000	198,000	552,000
光熱水費	300,000	319,817	△19,817
委託費	572,241	670,286	△98,045
減価償却費	1,853,432	1,846,744	6,688
雑費	462,000	299,700	162,300
租税公課	297,410	212,885	84,525
修繕引当金繰入額	0	0	0
退職給付費用	123,083	128,674	△5,591
経常費用計	889,692,480	890,861,024	▲1,168,544
当期経常増減額	▲42,606,648	▲122,241,024	79,634,376
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲42,606,648	▲122,241,024	79,634,376
一般正味財産期首残高	412,877,571	489,609,610	▲76,732,039
一般正味財産期末残高	370,270,923	367,368,586	2,902,337
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	370,270,923	367,368,586	2,902,337

（注1）一般正味財産期首残高に関して、平成28年度は平成27年度決算見込み値を、平成27年度は平成26年度決算値を使用

（注2）短期借入限度枠は300百万円とする

	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	(単位:円) 合計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	222,814,243	0	7,429,589	230,243,832
正会員受取会費	194,014,243	0	7,429,589	201,443,832
賛助会員受取会費	28,800,000	0	0	28,800,000
事業収益	523,842,000	0	0	523,842,000
公演料収益	307,224,000	0	0	307,224,000
広告料収益	20,628,000	0	0	20,628,000
入場料収益	170,020,000	0	0	170,020,000
使用料収益	16,400,000	0	0	16,400,000
その他事業収益	9,570,000	0	0	9,570,000
受取補助金等	53,000,000	0	0	53,000,000
公的補助金収入	53,000,000	0	0	53,000,000
寄附金収入	39,000,000	0	0	39,000,000
一般寄附金収入	39,000,000	0	0	39,000,000
雑収益	533,300	0	466,700	1,000,000
雑収益	533,300	0	466,700	1,000,000
経常収益計	839,189,543	0	7,896,289	847,085,832
(2) 経常費用				
事業費	880,077,685	1,718,506	0	881,796,191
役員報酬	3,342,950	257,150		3,600,100
給料手当	357,518,670	32,043		357,550,713
賞与	0	0		0
法定福利費	53,163,938	3,034		53,166,972
旅費交通費	59,034,904	41,645		59,076,549
出演費	168,490,000	0		168,490,000
音楽費	7,704,000	0		7,704,000
文芸費	2,661,000	0		2,661,000
諸謝金	830,000	0		830,000
会場費	63,816,000	0		63,816,000
楽器運搬費	6,579,000	0		6,579,000
外注費	4,800,000	0		4,800,000
宣伝費	5,000,000	0		5,000,000
印刷製本費	15,180,000	0		15,180,000
支払手教科	9,940,000	0		9,940,000
消耗品費	2,413,270	7,980		2,421,250
修繕費	1,750,350	17,450		1,767,800
賃借料	2,269,242	8,995		2,278,237
保険料	1,001,164	16,092		1,017,256
交際費	1,080,000	0		1,080,000
通信運搬費	4,218,280	16,720		4,235,000
光熱水料費	7,669,600	30,400		7,700,000
委託費	8,513,869	221,890		8,735,759
減価償却費	25,922,146	1,004,422		26,926,568
雑費	13,141,184	46,816		13,188,000
租税公課	31,110,590	0		31,110,590
修繕引当金繰入額	0	0		0
退職給付費用	22,927,528	13,869		22,941,397
管理費	0	0	7,896,289	7,896,289
役員報酬			1,542,900	1,542,900
給料手当			961,287	961,287
賞与			0	0
法定福利費			91,028	91,028
旅費交通費			416,451	416,451
通信運搬費			165,000	165,000
印刷製本費			0	0
支払手教科			0	0
消耗品費			78,750	78,750
修繕費			32,200	32,200
賃借料			88,763	88,763
保険料			41,744	41,744
交際費			120,000	120,000
支払利息			750,000	750,000
光熱水料費			300,000	300,000
委託費			572,241	572,241
減価償却費			1,853,432	1,853,432
雑費			462,000	462,000
租税公課			297,410	297,410
修繕引当金繰入額			0	0
退職給付費用			123,083	123,083
経常費用計	880,077,685	1,718,506	7,896,289	889,692,480
当期経常増減額	▲ 40,888,142	▲ 1,718,506	0	▲ 42,606,648
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
他会計振替額			0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 40,888,142	▲ 1,718,506	0	▲ 42,606,648
一般正味財産期首残高	350,438,999	21,214,235	41,224,337	412,877,571
一般正味財産期末残高	309,550,857	19,495,729	41,224,337	370,270,923
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	309,550,857	19,495,729	41,224,337	370,270,923

【ご参考】

平成28年度収支予算書（収支計算ベース）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

（単位：円）

科 目	平成28年度予算	平成27年度予算	増 減	備 考
I. 収入の部				
受 取 会 費	230,370,000	188,470,000	41,900,000	
事 業 収 入	523,842,000	488,897,000	34,945,000	
公演事業	500,772,000	466,478,000	34,294,000	
会館事業	16,400,000	10,682,000	5,718,000	
その他事業	6,670,000	11,737,000	▲ 5,067,000	
補 助 金 収 入	53,000,000	64,500,000	▲ 11,500,000	
寄 付 金 収 入	39,000,000	21,634,000	17,366,000	
雑 収 入	1,000,000	5,119,000	▲ 4,119,000	
退職給付資産取崩収入	0	0	0	
修繕費積立預金取崩収入	0	0	0	
当期収入合計	847,212,000	768,620,000	78,592,000	
前期繰越収支差額	▲ 190,574,269	▲ 138,048,000	▲ 52,526,269	
収入合計	656,637,731	630,572,000	26,065,731	
II. 支出の部				
事業費・管理費	420,935,000	377,153,000	43,782,000	
公演事業	328,497,000	302,304,000	26,193,000	
その他事業	92,438,000	74,849,000	17,589,000	
人 件 費	416,913,000	438,041,000	△ 21,128,000	
退 職 金	5,729,030	2,768,000	2,961,030	
長期未払金支出	2,608,200	2,608,000	200	
当期支出合計	846,185,230	820,570,000	25,615,230	
当期収支差額	1,026,770	▲ 51,950,000	52,976,770	
次期繰越収支差額	▲ 189,547,499	▲ 189,998,000	450,501	